

【情報公開文書】

2020年6月4日作成

Ver.1.02

研究課題名	臨床検体を用いた腫瘍抗原発現と免疫応答の解析
所属（診療科等）	長崎大学病院 移植・消化器外科
研究責任者	江口 晋（教授）
研究機関	本研究は長崎大学病院 移植・消化器外科を中心に全国約4施設で実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。
研究期間	2020年2月12日～2026年3月31日
研究目的と意義	この臨床研究は、がん患者さんを対象に、がん免疫療法の目印である腫瘍抗原と血液内でのリンパ球が働く免疫反応の力、がんの組織（生検、手術）内の免疫に関係する細胞の状態を調べることを目的としています。この研究により、がん免疫療法で副作用などの不具合や効果が出やすいがんのタイプや個人の特徴を予め知ることで、安全で有効な治療法の開発に役立てようとしています。なお、この研究で得られたがん組織と免疫応答の結果は、医学的意義が明白でないため、診断や治療に影響を及ぼすことはありません。
研究内容	<p>●対象となる患者さん 以下の条件（基準）を満たす患者さんが対象になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長崎大学病院で消化器癌、頭頸部癌、婦人科癌、骨軟部腫瘍、造血器腫瘍、脳腫瘍、皮膚癌、乳癌と診断された方 ・20歳以上の男性あるいは女性 <p>●利用する情報／試料 この研究は診療録から診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、病理組織検査の情報）を収集します。 試料としては、以下の検体を使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍検体 <p>●研究の概要・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍検体 内視鏡下生検組織標本（1症例あたり2個程度）、または手術摘出腫瘍切片、凍結腫瘍切片（1cmx1cm大程度）、胸腹水。既に採取された検体（パラフィンブロック検体）、または生検、切除時の残余検体を使用します。 <p>この研究は多施設共同研究であるため、この研究で得たあなたの情報は共同</p>

	研究施設である三重大学へ提供します。あなたの情報は識別番号を付けた状態で提供します。
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：小林 慎一郎（医師） 長崎大学病院 移植・消化器外科</p> <p>住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号</p> <p>電話：095（819）7316 FAX 095（819）7319</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：医療安全課 095（819）7616</p> <p>受付時間 : 月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>